2026 年 11 月9日

「機能性タンパク質を用いた医療機器創傷治癒材の実用化」が日本バイオマテリアル学会賞（技術・臨床）を受賞

三洋化成工業株式会社
（証券コード　4471）

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：原田　正大）は、このたび、当社の川端慎吾と京都大学の共同研究者による研究成果「機能性タンパク質を用いた医療機器創傷治癒材の実用化」が、2026 年日本バイオマテリアル学会賞（技術・臨床）を受賞したことをお知らせします。

日本バイオマテリアル学会賞は、バイオマテリアルの科学および技術（医工学および医療機器開発技術を含む）に関する独創的かつ優れた業績を挙げた者に授与される賞です。

受賞対象となった研究成果

本受賞の対象となった研究成果は、当社が開発した機能性タンパク質「シルクエラスチン®」を用いた創傷治癒材の研究開発および実用化に関するものです。

シルクエラスチン®は、シルクフィブロインの部分配列とエラスチンの部分配列とを組み合わせた当社独自の遺伝子組換えタンパク質であり、温度に応答してゲル化する特長を有しています。

やけどやケガ、皮膚がん等の切除などで皮膚が欠損した場合、その部分を治すためには創傷治癒が必要です。創傷の治療には、創面を湿潤に保ちながら、細菌感染を防ぐことが重要ですが、高齢化社会の進展や糖尿病などの生活習慣病の増加により、通常の治療では治りにくい「慢性創傷」（難治性皮膚潰瘍）の発生が増えています。慢性創傷は治癒に時間を要することから細菌感染のリスクが高く、仮に感染すると治癒が見込めない場合もあります。

当社は、このような慢性創傷の治療への貢献を目指し、京都大学との共同研究のもと、シルクエラスチン®の実用化に取り組んできました。その成果として、創傷治癒材「シルクエラスチン創傷用シート」を開発しました。

本品は、創傷部に貼付すると滲出液を吸収して溶解し、体温によってゲル化します。形成されたゲルが創傷部を被覆・保護し、創傷治癒を促進します。2025 年に医療機器製造販売承認を取得し、2026 年には保険適用が開始されました。

今回の受賞では、機能性タンパク質を用いた創傷治癒材について、研究開発から医療機器としての実用化に至るまでの成果が評価されました。

受賞概要

賞名

2026 年　日本バイオマテリアル学会賞（技術・臨床）

研究題目

機能性タンパク質を用いた医療機器創傷治癒材の実用化

受賞者

川端慎吾（三洋化成工業株式会社）
森本尚樹（京都大学大学院医学研究科形成外科学　教授）
田畑泰彦（京都大学大学院医学研究科形成外科学　特任教授）

今後について

三洋化成は今後も、シルクエラスチン®をはじめとする独自のバイオマテリアル技術を活用し、医療分野における研究開発を推進してまいります。

＜関連情報＞

・2020 年 1 月 21 日
「難治性の傷を治す人工タンパク質を開発－産官学連携で医師主導治験を経て企業治験へ－」
https://www.sanyo-chemical.co.jp/wp/wp-content/uploads/2020/01/k200121.pdf

・2024 年 7 月 1 日
「慢性創傷の治療に人工タンパク質シルクエラスチン®の高い安全性・有効性を確認－慢性創傷を治療する革新的な治療材料として薬事承認申請へ－」
https://www.sanyo-chemical.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/07/k20240701.pdf

・2025 年 5 月 7 日
「新規創傷治癒材『シルクエラスチン創傷用シート』の薬事承認取得に関するお知らせ」
https://www.sanyo-chemical.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/k20250507.pdf

・2026 年 6 月 1 日
「難治性創傷を含む創傷治療において『シルクエラスチン創傷用シート』が保険適用」
https://www.sanyo-chemical.co.jp/wp/wp-content/uploads/2026/06/k20260601_silk.pdf

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三洋化成工業株式会社
経営企画本部　広報 IR 部
電話　075-541-4312
https://www.sanyo-chemical.co.jp/